

令和3年度第3回社会教育委員の会議

令和3年7月26日(月)

午後2時30分開会

開催日時	令和3年7月26日	開会 2時30分 閉会 3時02分	
場 所	萌え木ホールA会議室		
出席委員	議 長 原田 隆司 副 議 長 柴田彩千子 委 員 黒木 智道 委 員 石原 芳 委 員 富田謙次郎	委 員 城 瑞枝 委 員 諏訪 啓二郎 委 員 福井 高雄 委 員 森本 榮子	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 藤本 裕 生涯学習課長 関 次郎 生涯学習部オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長 内田 雄介	図書館長 菊池 幸子 公民館長 鈴木 遵矢	
事務局	生涯学習係長 小堀久美子		
傍聴者人数	6名		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	(1) 会議録の承認について (2) 全国大会等に参加する団体への補助金の交付について (3) その他 ①意見・提案シートについて ②来期に向けた引継ぎ事項等について ③その他
第 2	報 告 事 項	(1) その他

原田議長

それでは、皆様、おそろいになりましたので、令和3年度第3回社会教育委員の会議を開催いたします。

本日は、長坂先生から御欠席の御連絡をいただいています。その他の皆さんは御出席です。

今日は、会議と勉強会の2段構えになっておりまして、前半が、いつものように社会教育委員の会議、議題と報告事項がございます。それから、終了後、地域学校協働活動の現状についての勉強会ということで、緑小の地域コーディネーター、お三方に後ほどおいでいただきまして、具体的にどういう活動をされているか、お話を伺う予定でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、まず初めに、資料の確認を事務局のほうからお願いいたします。

小堀生涯学習係長 こんにちは。資料の確認をさせていただきます。

まず、社会教育委員の会議会議録（令和3年度第1・2回）。続いて、全国大会参加団体への補助金交付について、資料1。意見・提案シート、資料2。第29期小金井市社会教育委員の会議2年間の検討内容、資料3。

併せて、勉強会の資料として、小金井市立緑小学校コミュニティ・スクール、令和2年度緑小学校地域学校協働活動事業報告書、みどりの放課後（2020年9月・10月）を配っております。

以上です。

原田議長

ありがとうございました。足りない方、ありますでしょうか、大丈夫でしょうか。

それでは、次第に沿いまして、進めてまいります。

まず、議題1、会議録の承認について、第1回と第2回の分が添付されております。既に皆様には事前にメールでお送りして確認をしていただいております。修正点等はこれに反映されていると思います。

その上で、何かこの会議録について御意見はありますでしょうか。よろしいですか。

それでは、会議録については御覧いただいたとおりに承認ということにいたします。

それでは、議題2、全国大会等に参加する団体への補助金の交付について、資料1を御覧ください。事務局、お願いいたします。

小堀生涯学習係長 資料1を御覧いただきまして、こちらは、全国大会に参加する団体へ補助金を交付させていただくということで議題に諮らせていただいております。

裏面に、全国大会等に参加する団体への補助金交付事務取扱基準というものを載せさせていただいておりますが、こちらは、目的としては、優秀な成績を収めた優れた団体の負担を軽減し、健全な団体を育成し積極的な活動を支援するために補助金を交付します。

資格としては、団体の構成員、2分の1以上が小金井市内在住、小金井市立在學生で構成されていること。そして、団体構成員は小学校児童、中学校生徒で構成されていることとなります。

補助金の対象経費につきましては、大会等に参加する旅費、大会参加費、ただし、飲料、給食、懇親会費用、参加賞費用、保険料は除きます。

大会等の規模としては、いきなり全国大会に参加しますという形ではなくて、予選会等が実施されて、その中で優秀な成績を収めたことで全国大会の参加資格を得た、そういった全国規模の大会等であることとしております。

補助金交付額は補助対象経費の2分の1を限度として、20万円を上限としております。

表に戻っていただきまして、今回申請がありました団体は、小金井ハンドボールクラブになります。ハンドボールクラブさんが参加される予定の大会名が「第34回全国小学生ハンドボール記念大会」で、開催予定日が令和3年7月29日から同年8月1日まで、開催する場所は京都府京田辺市で、種目としてはハンドボールです。

交付予定額としては、大会参加費、交通費、宿泊費を含めまして96万2,000円が対象経費になります。こちらが補助金の2分の1以下、上限20万円ということで、申請額が20万円、交付予定額が20万円となっております。社会教育関係団体等に補助金を交付する場合には社会教育委員の方の意見を聞くこととなっておりますので、今回議題にさせていただいております。何か御意見がありましたらお願いいたします。

原田議長 これについて、御質問、御意見等はございますでしょうか。

富田委員 教えていただけますか。

原田議長 富田さん、お願いします。

富田委員 富田ですが、大会の規模といたしまして、何か御存じでしょうか。何チームぐらい出られるとか、それから、参加者の人数はどれぐらいなのか、お分かりの範囲で教えていただきたいんですが。

小堀生涯学習係長 すみません、大会の規模については、書類を確認いたします。ちょっとお待ちください。

富田委員 はい。すみません。

原田議長 では、後ほどお答えいただくということで。

小堀生涯学習係長 はい。

原田議長 そのほかはございますか。よろしいでしょうか。

では、交付について特に意見はないということで、よろしく願いいたします。

それでは、議題のその他へまいります。

まず1つ目は、意見・提案シートについて、資料2にあります。これは昨年の12月18日のこの会の傍聴をされた方から出された意見・提案シートです。

12月のものが今頃ということ、大変遅れてしまいましたが、前回まで議論しましたように、このシートの取扱いについて、この期としてはどうするかということの議論が済んでいなかったものですから、前回までにそれを終えまして、今日提出されたということです。御了承ください。

2つ、意見、御質問が書いてあります。1つ目は、「学校教育と社会教育は学びの両輪です。教育プランは6人、社会教育委員は9人、この定員の違いは何によるのでしょうか」という質問ですね。2つ目は、「双方を別々の委員会とせず、併催もしくは委員会同士の連携ができるような仕組みをつくれないのでしょうか」という御意見ですね。

意見・提案シートについては、この場で議論が必要な場合は検討するというところで取り扱うことになりましたが、1については、後ほど、事務局から何によるのかということの御説明をいただけるかと思いますが、2つ目の学校教育の計画と社会教育が関わる計画、あるいは委員会が連携できるような仕組みをつくれないのでしょうかという御質問です。これについ

て、何か御意見はありますでしょうか。

それぞれ委員会がありまして、いずれも学校教育、社会教育は教育委員会の主管する部局ということで検討委員会を設けているわけですが、それぞれで計画をつくったり、検討したりしているということでもあります。この連携についての御意見です。

課長、何かこれまで、こういう連携について実績というか、ありますでしょうか。

関生涯学習課長 生涯学習課長です。意見・提案シートの2番、双方を別々の委員会とせず連携というところで、社会教育の会議は、この会議となりますのが、委員の方が10人、教育プランというのは、学校教育で昨年つくった計画となりますが、会議の正式名称は小金井市教育プラン検討会議、委員の方が6人という形だったと思います。教育プランは完成したということで、恐らく委員会の会議としては解散となっているのかなとは思っています。

それで、ちょっと昔の話で、教育委員さんと社会教育委員の会議の方で、私の昔の記憶で不確かな部分もあるんですけども、年に1回ぐらい意見交換という場はたしかあったかなとは思っています。ここで言う教育プランの人たちとの交流という意味とはちょっと違うかもしれないんですけども、教育委員さんと社会教育委員、年に1回ぐらい交流はあったかなとは記憶しておりますので、今現在やられてはいないんですけども、どういう経過で今はやっていないのかということも含めて、調べられるのであれば調べてみたいかなとは思っております。ちょっと記憶が定かではない部分の中での発言で大変申し訳ないんですけど、経過としてはあったかなと思います。

以上です。

原田議長 そういう連携というか相互交流みたいなことは、教育委員会の下で必要があればできるということですね。

関生涯学習課長 そうですね。

原田議長 特に規定があるわけではないですよ。

関生涯学習課長 規定があるわけじゃないですけども。

原田議長 福井さん。

福井委員 福井です。都市社連協の連絡協議会で6市の方の発表の中で、たまたま、武蔵野市の方は、社会教育委員と教育委員とで懇談会をやっているということをお聞きしておりました。ですから、できたら、武蔵野市の社会教育委員の方に教育委員のメンバーとどういう懇談会をやっているかということをご参考意見として聞いていただければ、今後、我々、小金井市で社会教育委員が教育委員との懇談会のテーマ、そのとおりにやることはないと思うんですけど、ヒントになると思います。

以上です。

原田議長 私も6年前にこの委員になったときに、その前からいらっしゃる委員の方から、そういう、今、福井さんが出されたような交流、懇談会をやったことがあるという話を聞いたことがあります。

1番の人数の違いというのは、これは何か、それぞれ要項によっているわけでしょう。

関生涯学習課長 そうですね。社会教育委員の定数は、条例で定められておまして、小金井市教育プラン検討会議については、設置要綱で定められておまして、6人で組織されております。

原田議長 社会教育委員は10人までということで、実際、10人いらっしゃるんですよ。

関生涯学習課長 そうですね、はい。

原田議長 城先生、何かご意見がありますか。

城委員 教育プランは、先ほど課長からも御説明があったように時限的な委員会なので、連携を取っていくとすれば、やはり教育委員との連携のほうが現実的なのではないかと思えます。

原田議長 そのほか、何か御質問、御意見はありますか。

それでは、これについて、特に2つ目の連携については、そういう実績があると、可能性もあるというようなことで、教育委員と社会教育委員の

交流ということもあり得るということで、それを頭に置いていただければと思います。よろしいでしょうか。

意見・提案シートについてはよろしいですか。では、先ほどのハンドボールクラブ。

小堀生涯学習係長 お時間をいただき、申し訳ありません。

先ほどの大会は、まず、都大会で1位になったということで全国大会に出られる資格を得られております。全国大会は男女各約40チームが参加されて、各チームで10人ずつぐらいが参加され、男女別で400人ぐらいの規模の大会となります。

以上です。

原田議長

よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、議題、その他の2番、来期に向けた引継ぎ事項等についてということでありまして、資料3を御覧ください。

これは第29期ですから、2年前の、私たち30期の前の29期が2年間活動を終えた後に出され、30期の私たちに配付された報告であります。このように、2年間、会議の中でどういう検討、仕事をしてきたかという主な項目が書いてございます。

1つ目は、第3次小金井市生涯学習計画の評価、2つ目は、三者懇談会、三者合同会議、これは図書館、公民館と社会教育委員の三者でもって懇談会、合同会議をして情報交換をしている。3つ目、生涯学習支援センター機能については、28期からの継続事項になります。支援センター機能、支援センターという建物の意味ではなくて、生涯学習を支援する機能をどのように充実させていくかということについて検討しました。

それから、4つ目は、地域学校協働活動の実現に向けてという提言を提出しました。29期の中では、4つ目の提言が最も主な活動だったかと思えます。

それから、最後に、来期に向けた検討のお願い、引継ぎですね。この提言を踏まえて、さらに社会教育委員として勉強、研究を続け、それから、何か協力できることがあるのかどうかということを経験して検討していきましょうというのが継続検討のお願いとなりました。今日、後段で行います勉強会は、それに沿ったものだと思っています。

今期も次の8月の第4回で第30期、2年間が終わりますので、このようなまとめを次の31期に引継ぎ事項としてお渡ししたいと思いますが、そ

れについて、何か、ぜひこういうことを盛り込んだらいいのではないかと
いうような御意見はございますでしょうか。

コロナの感染対策もありまして、非常に活動には制限のかかった2年間
だったと思いますけれども、その上で、そんなことも報告の中には反映し
たほうがいいかと思うんですけれども。項目として、こういうものはどう
だというのはありますでしょうか。よろしいですか。

副議長、いかがでしょうか。

柴田副議長

今期、第30期は、第4次の小金井市生涯学習推進計画を策定するとい
うことで、十分議論ができたことが成果だったのではないかと思います。

コロナ禍でありまして、管外研修など、なかなか実現できなかったんで
すが、この推進計画の議論をその分しっかりできたということと、来期に
向けた検討としましては、引き続き、今日も後半の会でコミュニティ・ス
クール、地域学校協働活動についての学習会を開催しますけれども、小金
井市ならではのコミュニティ・スクール、あるいは地域学校協働活動の在
り方というものを社会教育委員の側からしっかりと検討して行って、我々
に何ができるのかということをもうちょっと掘り下げて具現化していくこ
とが課題になるのではないかと思います。

従来議論されていた小金井スタイルを大事にしていくというところを引
き継いでいってはいかがでしょう。小金井市には、他市に引けを取らな
いぐらいの地域住民の活動があったり、それから、教育関係のNPOがあ
ったりしますので、そういった資源を、教員の多忙化を増長させない形で
つなぐことができるのではないかと思いますので、そこに取り組むことを
検討事項で上げていただきたいと思います。

原田議長

ありがとうございました。2点上げていただきました。1つは、第4次
生涯学習計画、2年のうちの後半についてはこれに集中して取り組んでき
ましたので、これは活動の成果の1つであろうと。

もう一つは、今日の勉強会もありますけど、コミュニティ・スクール、
地域学校協働活動についての検討を引き続き行う。特に小金井らしさとは
何か、小金井スタイルの活動とはどういうものかというのを具体的に示し
ていくことも必要なのではないかと御指摘、意見でございました。

ほかにいかがでしょうか。福井さん、何かありますか。大丈夫ですか。

福井委員

ちょっと話はずれますが、当然、コロナ禍ですから、三者合同会議、

図書館協議会及び公運審との連携というのが一切なかったということで、できたら、来期、どういうつながりで、開催できるかどうか分からないんですけれど、何か実施できるような工夫というものを、ひとつ、方策を考えていただければと思います。

以上です。

原田議長

今、福井さんの御指摘は、コロナで心配されるいろいろな活動ができなくなったけど、その上で、何かそれをまたできる方法を探っていく方がいいのではないかと。

これは確かに去年からいろいろな会議がなくなる中で、ほかの市の方法とかを聞きますと、結構インターネットを使ったリモートの会議などなど、かなり自治体によって濃淡はありますけども、進んできているかなというようなものも見てきました。そういう意味で、今後、そういうようなことも活用していく必要があるのかなと私も思います。

副議長、大学の講義などもリモートになって、かなりノウハウが蓄積されてきたと思うんですけども、何か参考になることはありますか。

柴田副議長

大学の授業は、昨年からはオンライン、オンデマンドとなっていて、今、一部対面のものもやっていますけれども、昨年度からの1年半にかけまして、一気にオンラインの技術をやりながら学ぶというような状況が進んでいるのかなと思います。

大学の中の会議も書面会議とか、オンラインの会議というものが増えてきて、セキュリティーのほうも大分整ってきたので、オンライン会議も、こういった公的な会議も一部は可能なのかなと考えます。

原田議長

審議会の中にもオンラインを活用して実施したという例がいろいろあるかと思いますが、そんなことも今後には活かしていけたらと思います。ほかによろしいでしょうか。

それでは、これまで出た内容も含めまして、事務局のほうでA4、1枚程度の原案を作っていて、できれば議長、副議長と一緒に検討させていただいて、最終回の次の8月の会議で、こちらで提示するというような段取りでよろしいでしょうか。

では、そのようにさせていただきますので、よろしく願いいたします。

議題、その他のその他というものがあります。これは何かありますか。よろしいですか。

小堀生涯学習係長 特にないです。

原田議長 それでは、報告事項へまいります。

報告事項、その他、これは何かございますでしょうか。関課長、お願いします。

関生涯学習課長 オリンピックについて報告いたします。まず、聖火リレーですけれども、7月14日水曜日、本来でしたら公道走行を行うところでしたが、今般の情勢で、東京都においては、島嶼地区を除いての公道走行は取りやめということになりましたので、14日の最終区間は府中市さんですけれども、府中市の東京競馬場において、14日、公道で走る予定だった聖火ランナーの方にお集まりいただいて、市ごとに時間を区切って、点火セレモニーを実施しました。小金井市の場合は4時半ぐらいだったかと思うんですけれども、市長挨拶の後、トーチキスを行いました。小金井市の終了後、最終は府中市となりますので、府中市さんも同じような形でトーチキスをして、最終の方が納火をして、14日の日は終わったという形になりました。

これまで準備を進めてきまして、いろいろな関係機関に御協力をいただいた中で築き上げて当日を迎えたところでしたが、6月29日付で東京都の聖火リレー実行委員会から公道走行を見合わせるということがありましたので、そのような形とさせていただきました。

聖火リレーの報告につきましては以上でございます。

内田生涯学習部オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長 続きまして、自転車ロードレースですけれども、7月24日、25日、おとといと昨日実施されまして、2日間ともボランティアの方、100人ずつにお手伝いいただいております。

24日に関しては、男子のロードレース、約130人の選手に御参加いただいております、最終的にはエクアドルの選手が優勝されております。それから、昨日に関しましては、67人の女子選手が参加されて、オーストリアの選手が優勝ということになっております。

炎天下の中で温度が非常に高く、熱中症等、大変心配したんですけれども、特に事故もなく、また、1名、体調不良を訴えられる方は出たんですけれども、その方も今日、元気なお姿を見せていただいておりますので、小金井市では、特に問題は発生しておりません。

以上ですが、この後、8月20日にはパラリンピックの採火式というものをやっていきますし、現在、もう既に始めているんですけども、小金井市はパブリックビューイングをやらないことで決定いたしましたので、その代わりといたしまして、ホームページ上で、市民の皆さんでメッセージを選手たちに届けようみたいな企画もやっておりますので、ぜひ皆様もホームページ上で御覧いただいて、応援メッセージをお寄せいただければと思います。

以上です。

原田議長 ありがとうございました。富田委員は、昨日、ボランティアで参加された。

富田委員 はい。行ってまいりました。

原田議長 大変日焼けしていますよね。何か御感想はおありでしょうか。

富田委員 思った以上に一般の方が来られていました。それで、小さいお子さんがお母さんと一緒に作られたんでしょうね、五輪の旗だとか日本の旗だとかを持って、こうやって振られていました。

普通のスポーツの祭典じゃないものですから、やっぱりオリンピックなので、できたら本当に会場へ行って応援できればよかったのになと、昨日はつくづく思いました。

以上です。

原田議長 お疲れさまでした。

それでは、今後の予定であります、そこにありますように、第4回、第30期の最後ですけども、会議は8月23日月曜日、午後6時から801会議室でございます。夜間の開催となりますが、よろしく願いいたします。お時間を間違えないようにお願いします。

それでは、以上で社会教育委員の会議は終了といたします。